

うたしない 市議会だより

第63号

歌志内市議会
議会報編集委員会

発行年月日 令和3年11月1日

↓旧JR歌志内線駅舎跡「歌神駅」標



↑旧JR歌志内線
駅舎跡「西歌駅」標



旧JR歌志内線駅舎跡
「神威駅」標→

令和3年
第3回定例会
9月開催

〔定例会の開催〕
9月7日から9日までの3日間の会期で定例会を開催しました。7日は冒頭、7月31日にご逝去された故谷秀紀議員を悼み追悼演説を行いました。その後、3件の報告を受け、議案6件を審議し、令和2年度決算に係る2議案は、決算審査特別委員会（委員長本田加津子）に付託し、閉会中に継続して審査することになりました。

〔定例会の開催〕

議会の動き

改正する条例ほか1議案は、いずれも原案どおり可決しました。

一般質問は8日4名、9日2名が行い、その後意見書案8件を審議し、いずれも原案どおり可決し、閉会しました。



もくじ

- 議会の動き …… 1 P
- 一般質問 …… 2～4 P
- 行政常任委員会報告 …… 4 P
- 可決された意見書 …… 4 P



能登 直樹

一 市民の命を守る防災・減災、また災害発生時の情報共有及び情報提供について

質 防災の観点からハザードマップの重要性は必須ですが、市民に対しての平時からの備えと防災意識をどのように進めていくのか。

答 防災意識を高めていくため、広報誌等へ定期的に防災等に関する情報を掲載したり、防災ハザードマップを作成し、各家庭に配付しています。

また、希望する町内会・自治会等に対し、防災に対する説明会や訓練などによる啓発活動を実施しています。

質 住民の安全を確保し被害を最小限に食い止めるための情報通信技術の活用を積極的に進めるべきと考えるが。

答 災害時には正しい情報を共有できるように災害対策本部と災害現場、消防本部など主要箇所にLTEトランシーバーを持参した災害対策本部の職員を派遣したり、災害対策本部にデジタル無線受令機を設置するなど、情報を的確に収集することとしています。



山崎 瑞紀

質 避難所生活が長期化した場合、行政と避難者が共に情報共有できるネットワーク体制はどのようなようになっているか。

答 避難者が情報収集する方法としては、スマートフォン等への登録制メールやホームページ、フェイスクックの活用、機器がない方はテレビのデータ放送や広報車により情報を収集することとなります。

二 「脱炭素社会」に向けた木材の利用促進について

質 海のない本市として、林産業分野など視野に入れた産業を考えるべきと思うが。

答 木質バイオマスなどの木材を利用した新しい産業分野が注目されています。現実的には林業のない本市においては林産分野の企業を起こすのは難しいと考えていますが、企業誘致の可能性など調査してまいりたいと考えています。

質 「脱炭素社会」に向け、市長が目指すところはどこか。

答 太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入や公共施設整備等の更新の際に、エネルギー効率の高い設備等の導入を検討しながら、道や近隣市町と連携を図り「脱炭素社会」の実現を目指してまいります。

一 児童センター等一元化施設建設基本構想の進捗状況について

質 一元化施設等の建設に向けて、総合教育的な施設や住民票・各種証明書の発行など、行政機関の付加なども含めて検討するのはいかがでしょうか。

答 児童センター等一元化施設等の建設については、文教施設という単一的な機能のみではなく、行政機関や防災機能、さらには市民が交流できる場など、可能な限り複合的な機能を持ち合わせる施設をイメージしながら、市民にとって利用しやすく、かつ、必要と思える施設建設の検討を進めています。

質 子育て支援をさらに強化するため、子育て世代が望む安全な遊び場の提供も必要な機能と思います。

子どもの遊び場の必要性について、児童公園の管理所管としての見解を伺います。

答 子どもたちは、様々な体験活動や異年齢交流などを経験することで大きく成長し、身体や心の発達を伸ばしているものと考えられます。そのひとつとして遊び場の提供は大変重要であり、遊びは子どもの成長にとって欠かせない活動と考えています。また、広場や屋内施設など、子どもの遊び場が充実すると、保護者同士も安心して気軽に交流ができる場にもつながるものと考えています。

二 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

質 最近では無症状であつても新型コロナウイルスに感染しているというケースも多く見られているため、症状に関係なく市民の方が気兼ねなく抗原検査を実施できる環境整備が必要であると考えているが。

答 新型コロナウイルスへの感染を不安に思っている市民がいることは十分理解していますが、症状のない方への検査を実施することで、医療機関の負担が増え、日常診療業務が逼迫する一因とならないことや、検査結果が陰性だったことでコロナウイルス感染に対する気の緩みにもつながりかねません。今後、3密を避け、手洗いやマスク着用など、基本的な感染予防対策を働きかけてまいります。



本田 加津子

一 熱中症対策について

質 歌志内市の市営住宅では、エアコンなどの設置に関して、事前に申し出があった場合は、柔軟な対応をして頂けると聞いていますが、室内エアコンを設置している世帯数について伺います。

答 現在、「歌志内市営住宅模様替・増築承認申請書」に基づき、許可している件数は2件となっています。なお、職員による遠方目視点検では、32件程度と見込んでいます。

質 市営住宅に居住している市民の中には、近年の北海道の暑さ対策として、室内にエアコンを取り付けたいと考えているが、壁に配管用の穴を開ける工事が必要になるので、エアコンの取り付けをあきらめてしまう世帯もあると聞きます。

そこで、配管用の穴あけ工事を実施して頂きたいと考えますが、見解を伺います。

答 これまでも、何件か入居者より相談も寄せられていますが、その都度、市での対応

一般質問



は困難である旨ご説明し、ご理解を頂いている状況です。

また、平成以降に建築した住宅のほとんどがエアコン用配管開口部を整えており、市への申請が不要のため、詳細については把握していません。なお、ご質問にありますように気候温度変化の影響から北海道においても気温上昇が明らかで、エアコンの需要増が続いています。

このため、本市においても入居者等のご意見を伺うなど、まずは現状把握に努めてまいります。

質 歌志内学園のエアコン設置状況について伺います。

答 歌志内学園におけるエアコンの設置状況については、1年生から9年生までの各教室、特別支援教室、2階、3階のプレイルーム、職員室、保健室に設置しています。



めぐみ さとし

一 高齢者補聴器購入助成について

質 コロナ禍において多くの高齢者は外出自粛を続けている中で、人と対話する機会が少なくなり、認知症が進む原因になりかねない状況が生まれています。

それに伴い、6月第2回定例会でこの補聴器助成に関して一般質問を行いました。

答 併では、助成としての事業を行う前に、調査を進められるよう検討することでしたが、そこで伺います。

6月から3カ月間にこの答弁の進展はあったのか伺います。

答 65歳以上のコロナワクチン集団接種時に、受付での対面機会を利用して、補聴器の使用状況や聞こえの状況についての把握を試みましたが、受付業務と並行して実態を把握するには当日の混雑状況などからも大変難しい状況であり、的確な実態把握には至りませんでした。

今後の予定としては、高齢者宅訪問時及び介護教室開催

時などの機会を利用しながら実態把握に努める予定です。

再質 いつまでの期間で聞き取り調査を行うのか。

答 高齢者宅の訪問が200件近くありますが、冬期間にかからないような予定で進めたいと考えています。

再質 できる限り短期間で、多くの方々の話を聞いて集約して頂きたいと思うが。

答 来年度の事業に盛り込むとした場合、予算措置に間に合わなければならぬので、そのようなことを含めてやっていきたいと考えています。

再質 今回質問したのは、予算の中にどう組み込んでいただけのか、9月議会がリミットと思いい質問させてもらった。また、今回、加齢難聴者の

方々に補聴器を国が助成してくださいという意見書を審議することになっており、この意見書が採択されると歌志内市議会としての意見として国に出されることになる。

ぜひ来年の予算編成に間に合うように実態把握を進めて頂きたいかがか。

答 まずどういう状況なのか現状把握をして、検討していきたいと思っております。



山川 裕正

一 消防の広域化について

質 十勝管内全19市町村の消防、救急業務を管轄する「とかち広域消防局」を掲載した新聞記事では、音更町内の山火事の通報を受けた「とかち広域消防局」が現場に近い士幌消防署と音更消防署に出動要請し、士幌の消防車が先着、3分後に音更の消防車が到着、計25台の消防車が出動、1時間20分後に鎮圧したと消防広域化の意義を掲載しています。

そこで、歌志内市の消防を広域化した場合、現在の消防職員23名を維持し、救急搬送2次体制を維持できるのか伺います。

答 消防の広域化は、本部事務費や共同運用する消防施設費以外の経費は、加入側それぞれ市町村の負担となっています。

このため、職員数の維持や救急搬送体制の方式は、加入側である市町村に委ねられることから、体制を維持することとは可能であり、消防力の増強を図るためにも維持すべきと考えています。

質 消防を広域化した場合、歌志内市消防組織は、行政区域の人口等で消防署、消防支署等の組織が決まるのか伺います。

答 加入先である消防組合における人口や地勢、あるいは消防の規模に伴う組織機構のバランスや警防規程中にある出動計画により、組合側から署あるいは支署である旨提示されるものと判断しています。

このように単純に人口等で決定される性質のものではないことから、加入側と組合側で十分に討議を行い決定されるものです。

質 国及び北海道から歌志内市消防に広域化について、指導等があるのか伺います。

答 国からの直接の指導は現在のところありませんが、北海道からは担当所管である危機対策課の職員が定期的に来庁され、消防広域化の進捗状況等の聞き取り調査が行われています。

調査内容については、広域化に向けての当市の課題等の確認のほか、広域化協議時における組合への働きかけ及び情報提供を道が積極的に行う旨の助言を頂いています。



下山 則義

第2期歌志内市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

質 市街地のコンパクト化と新たな交通ネットワーク形成の記述があり、事業内容の具体的事業として

①市民の移動を支援するため、現状の路線バス交通と併せ、新しい公共交通サービスについて研究するとあります。進捗状況を伺います。

②市民同士のライドシェアについて研究し、実証実験を検討するとありますが、進捗状況を伺います。

答 本年度においては、外部の識見者を招き、公共交通に關して4月以降2度にわたり、本市の現況に対する意見交換などを行うとともに、他自治体における事例の収集などを行ったところです。

現在、スクールバスや市立病院の通院者を対象に送迎を行っています。現状では、路線バスの維持と運行回数確保が優先すべき課題と捉えており、市民同士のライドシェアなどについては、交通空

白地を対象とする取り組みで、現状においては、路線バスと競合する実証実験などを行う環境にはないものと認識しています。

質 第2期総合戦略の計画が示されたが、第1期総合戦略の検証をどのように反映させたのか伺います。

答 第2期総合戦略については、令和元年度で終了した第1期総合戦略の目標達成度、施策の進捗率、KPIなどの評価、検証を行ったうえで策定しています。

検証は、第1期総合戦略策定時に協力いただいた市民各層で構成する「まちづくり市民会議」の皆様からご意見をお受けし、「提言書」として提出いただいています。

市では、この提言内容をしつかりと受け止め、第2期総合戦略に反映させたものです。第2期総合戦略の策定経過のなかでは、アンケートなど市民意見聴取を12回、市議会常任委員会への報告を5回行っており、庁内検討委員会も13回開催するなど、市民の意見をできる限り反映し、実効性のある計画策定に取り組んだところとあります。

行政常任委員会報告

委員長 山崎 瑞紀

▽7月29日

令和2年度病院事業会計決算状況（見込み）について
令和2年度決算状況（見込み）について

新型コロナウイルス感染症対策の取り組み状況について
（保健福祉課所管に関する事項）
令和3年度建設事業の工程について

▽8月30日

奨学金及び就学援助の状況について
食育指導の状況について
新型コロナウイルス感染症対策の取り組み状況について
（保健福祉課所管に関する事項）

市民相談の状況について
消費生活相談業務の現況について

ごみ分別収集の現況について
ごみ不法投棄及び不適切排出の状況について

一般廃棄物最終処分場の管理運営状況について（赤平市からの受け入れ状況を含む）

可決された意見書

- 選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書
- 出産育児一時金の増額を求める意見書
- 加齢性難聴への補聴器購入のための国の助成を求める意見書
- 保健師等の大幅増員・保健所機能の抜本的強化を求める意見書

● コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

- 特別支援学校の実効ある設置基準の策定及び特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書
- 「大学生等への給付奨学金制度の拡充」を求める意見書
- 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

※これら8件の意見書は9月9日に議決し、内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長へ送付しました。

訃報



去る7月31日に谷秀紀議員が逝去されました。

谷議員は平成7年に初当選され、議会運営委員会委員長、行政常任委員会委員長などの要職を歴任し、通算23年8カ月の長きにわたり議会及び市政の発展に御尽力いただきました。

あらためて生前のご功績に対し、敬意と感謝を申し上げますとともに、ご冥福を心からお祈り申し上げます。

一部事務組合等議会

▽8月24日

空知中部広域連合議会第2回定例会 川野議長

編集後記

木々の葉も落ち始め、冬の装いになりつつあり、体調管理に気を付けてはならない時期になっています。昨年の冬は大雪、今年の夏は猛暑日が続く、異常気象が顕著になっています。今年の冬は果たしてどうなるのでしょうか？

皆さんにおかれては、くれぐれも体調に御留意して頂きたいと思っております。

編集長 めが